



ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。（エペソ人への手紙 6:13）

MJCC マニラ日本語キリスト教会

2019 MJCC年間聖句

2019年は、MJCCにとって、新しい区切りの年となります。教会の規約を改正し、年度を変更、選挙で役員を選出ではなく、長老制を敷くことになりました。その改正案もフィリピン国の政府登録機関に申請をすることができました。そして、2019年1月から新年度がスタートし、1月20日には年次会員総会も開催されました。

今聖書に従って真の成長を目指している教会の最大の敵はサタンです。悪魔の策略によって、キリストにある私たちが神から引き離そうとしたり、教会内に疑い、争い、不一致などを生じさせ、教会成長を阻止しようとしてくるはずですが。そのようなサタンの攻撃に対して神のすべての武具を身に着け、日頃から準備しておくことの大切さを昨年のバイブルタイム「エペソ人への手紙」から学びました。上記の年間聖句を通して学んだことを聖霊の力によって実践し、御言葉の上に堅く立つ教会を建て上げて行くことが2019年度の目標となりました。

メトロマニラ・セレブレーション

2019メトロマニラ・セレブレーション(伝道大会)が、2月15日から17日までの3日間、開催されます。

1977年に祖父のピリー・グラハム師、2006年に父フランクリン・グラハム師が説教をした、同じルネタ、リザール公園のキリノグランドスタンドで、3代目ウィル・グラハム師がまた伝道説教をされるという歴史的な集会となります。

MJCCは初めてこのような大きな伝道大会に参加するように導かれました。その準備のためMJCCの多くのメンバーが1か月半毎週礼拝後“クリスチャン生活と証しコース”に参加しました。これは、大会でも個人の生活においてもキリストに人々を導くための訓練を兼ねたものです。

セレブレーションに参加できるよう一人一人が祈りのリスト(アンデレカード)を作り祈っています。この機会をきっかけとして、さらに福音宣教にMJCCが参画し、多くの求道者が与えられ、教会の成長に繋がって行くように、是非お祈りください。(マニラ新聞・月刊誌 ナビ・マニラ1月号にて広告掲載)

2018年 年末特別行事

1. ファミリークリスマス 12月9日

今回は新しい形に挑戦し、礼拝と祝会の2部制にしました。総勢56名がMJCCに集まりました。そのうち約20名が新しい方々でした。クリスマス初めて教会で過ごすという方もいました。神様に新たな出会いを与えていただき、恵みをかみしめたクリスマスでした。前半の部「礼拝」では、共に賛美し、アリエル兄の礼拝メッセージで「クリスマスの本当の意味」を子供たちと一緒に学びました。続いて、後半の「祝会」では、CSの子どもたちの絵本朗読と賛美、ユースは影絵ショー。また有志による賛美、マジックショー、ジャイブダンス、そしてかわいい姉妹のバイオリンとピアノ演奏がありました。また、みんなでゲームをしたり、本当に楽しい会となりました。この機会を通して、教会に繋がり、また、主を求める人たちが起こされるように、来年もさらに充実した伝道の機会となるように祈っていきます。



ファミリークリスマス 集合写真



2. 燭火礼拝と持ち寄り交わり会 12月23日

ファミリークリスマスは年間でMJCCIにとって大きな行事です。イエス様をお伝えしたいとそのため多くの時間と労力が費やされるわけですが、その準備に忙しく、またフィリピンはカソリックの国であり、また、お祭り、楽しいこと大好きな国民性と重なり、12月はクリスマス一色になります。その騒がしい忙しいシーズンに静かにイエス様のご降誕をお祝い、「クリスマス」その言葉通りにキリストを礼拝することができるようにと、パイブルタイムでは16日と23日、2回に亘って、ルカの福音書からザカリヤとマリヤの賛美、そしてこの2人の信仰について一緒に学びました。23日は特に燭火礼拝をささげました。その後、それぞれのメンバーが“フルコース”並みのごちそうを持ち寄って楽しい食事と交わりも神の家族として与えられた幸いを覚えました。



テーブルの“フルコース”

3. 年末証と賛美の礼拝 12月30日

証し礼拝では、14名の証しをお聞きすることができました。年末年始の休暇中もあってマニラを訪れておられるゲストの方々も加えられました。2018年、神様がなしてくださったことを聞き励ましが与えられ、2019年に向かって心を目を一緒に恵みの主に向け感謝をささげることができました。

証しのハイライト部分をここに紹介させていただきます。

聖書を深く理解することで過去1番信仰が成長でき心から主を賛美することができる年となった兄弟；逆に今年が最悪の年、悪魔のささやき、サタンの攻撃と戦いの日々を送ったという兄弟；試練のときに、聖書からの気づき（伝道者の書3章の“時がある”）で親子関係の難しさを乗り越えた姉妹；職場のプレッシャーの中で「恐れるな」と主から守り導きを与えられた兄弟；家庭の問題で本当につらい日々の中にあってもイエス様に感謝し、涙しながらも信仰からくる喜びを伝えてくれた姉妹；親の介護の疲れで絶叫しながらも神に希望を持つことができた姉妹；一年間礼拝無欠席だったことを喜んでお話しくださった求道者の姉妹；年に1回MJCCIにこの証の礼拝に出席ができ一年を振り返ることができる幸いを伝えてくれた常連ゲストの姉妹；御言葉を挙げて来年の抱負を熱く語った兄弟；厳しい1年間を守られて神は本当におられることを実感し感謝した兄弟；数年前精神的に鬱を経験し、会社に辞表を出し、ここにはいないはずの兄弟は、いつの間にかMJCCIで賛美の奉仕を与えられて、神が道を造られたという証し；父親の介護看病から天に見送るまでの間に、家族全員に証しをし、救いへの準備ができたという兄弟（使徒16:31）；1年間日本でお孫さんと一緒に過ごして来た中で、思いがけない神様の贈り物（お孫さんの受洗）に喜び一杯の姉妹（ピリピ4:4）。神様はそれぞれの生活の中で生きて働かれておられるのです。ハレルヤ！

協力牧師からアドバイザーへ

馨先生は、2018年末を最後に協力牧師としての立場を退かれました。8年間思いがけないMJCCIとの関わりをきっかけに奉仕をすることになりました。フィリピン人のためにと宣教師として派遣されたので、フィリピンにある日本人の教会の働きに加わることは想定外でした。しかし、MJCCIで特にC-BTEの学びを通して教会の頭であるイエス様のご自身の体である教会を建て上げてくださることを確信し、次世代のリーダー（4人の長老）に任せることになりました。続いてしばらくはアドバイザーとして必要な支援をしていきます。

- ✿ ジューン先生は股関節の手術を2月23日に受けることになりました。健康が守られ、無事予定通りに手術が行われ、速やかに回復できるようにお祈りください。
- ✿ モンテルパの兄弟たちとは手紙などのやりとりがこの半年ほどスムーズではありません。手紙を出してもこちらにつかないということもよくあります。今回の「モンテルパの夜は明けて」の原稿は昨年8月の手紙と一緒におくれましたが、着いておらず、そのコピーを1月に再度送ってもらい、編集させていただいたものです。面会も難しく、最近のお手紙では兄弟たちがいろいろな病に伏せていることが報告されています。悪条件の中での収監生活ですから兄弟たちのためにも是非お祈りください。

笹山兄弟 ありがとうございます。

MJCCIの大切なメンバーである笹山学兄恵子姉が2月5日にマレーシアに住居を移されます。MJCCIで双子のお嬢さんお二人が先に信仰を持ち、5年前にお二人がそろって洗礼に導かれました。マニラにいられてから16年間、私たちと交わりを持ってこられたファミリーが遠くに行ってしまうことはとても寂しいですが、神様がともにいてくださること、そして、私たちの主にある家族としての交わりは永遠であることを覚えて、しばしのお別れを惜しみます。お元気で、またお会いしましょう。

